チケット販売機

VMT1E

取扱説明書

第5版:2023年10月6日



(本仕様は改良のため予告なく変更することがあります。)

-目次-

安全上のご注意		
1 はじめに	6	
2 特徵	6	
3 ブロック図および各部の名称とその機能	7	
3-1 ブロック図	7	
3-2 全体図	8	
	9	
4 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	10	
4-1 付属品	10 10	
4-3 本体の設置方法	12	
4-4 盗難および転倒防止	17	
5 設置後の操作	18	
5-1 初期設定	18	
5-2 販売モード	19	
5-3 メフテノフスモート 5-4 販売するプリンター用紙の補充	23 35	
5-5 残紙、ジャム紙の除去方法	36	
6 チケット販売操作	37	
7 紙幣識別機カバーの使用方法	38	
7-1 紙幣識別機カバーの取り外し	38	
7-2 紙幣識別機カバーの取り付け	39	
8 紙幣の回収方法	40	
9 日常のお手入れ	41	
9−1 紙幣識別機の清掃	41	
9-2 印字用プリンターの清掃	45	
10 エラー表示およびエラー解除方法	46	
1 1 警報ブザーの動作	48	
12 製品仕様	49	
13 保証規定	51	

安全上のご注意

ーかならずお守りくださいー

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたい 事を、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を次の表示で区分し、 説明しています。









り 専門業者へ	電気工事は、必ず電気工事登録業者に依頼してください。 ご自分で配線工事をされ不備があると、漏電や火災の原因に なります。
し アース線接続	アース工事は、電気設備基準など関連する法令、規則などに従っ て必ず「法的有資格者」によるD種接地工事を行ってください。
	本機を分解しないでください。 内部に高電圧部分があり、感電の恐れがあります。
接触禁止	雷が鳴り出したら電源プラグには触れないでください。 感電の危険があります。
() 禁止	電源コードや接続ケーブルを破損するようなことはしないで ください。ショート、断線により火災、感電の危険があります。

	▲ 注意
取り外し確認	移動させる場合は接続ケーブルなどをはずしてください。 ケーブルや本機が損傷し火災、感電の原因となります。
	腐食性ガスの存在する場所に設置し、使用しないでください。 また、埃や空気中に腐食を促進する成分(塩化ナトリウムや硫黄 など)が含まれている環境へも設置しないでください。
	埃や湿気、油煙、湯気が当たるところには取り付けないで ください。絶縁が低下し、感電や発熱、火災の原因になります。
() 禁止	本機の上に重い物を置かないでください。 転倒、落下などが怪我の原因になります。
電源プラグを抜く	長時間ご使用にならない時は電源プラグをコンセントから 抜いてください。
	電源プラグをコンセントから抜く時は、電源コードを引っ張らな いでください。コードが断線、ショートし、火災、感電の原因と なることがあります。

1 はじめに

VMT1Eは、有料放送を視聴する為の番号が印字されたチケットを発行する販売機です。

2 特徴

- 1000 円紙幣識別機とチケット印字プリンターが内蔵されており、マイクロプロセッサに より販売動作を制御しています。
- 表示は4桁数値表示器となっており、販売金額、エラーなどを表示します。
- 防犯強化板金、警報ブザー、警報ブザー設定キーを標準装備し、機能面だけでなくセキュリ ティー面についても充実したチケット販売機です。
- 本体部は板厚 2.3mm の板金、さらに前面扉の紙幣識別機周辺を板厚 5 mmの防犯強化板金 で補強しています。
- 紙幣識別機をステンレスカバーで保護しています。
- 紙幣の識別には、磁気、光学方式を併用しています。
- 紙幣引き抜き防止機能を備えています。
- 内部機器の部分はスライド式になっており、簡単に引き出すことができます。
- テスト機能がありますので、設置時およびメンテナンス時に各種カウンタの値を変えること なく、機器のテストが行えます。
- ネットワークを利用するので、管理サーバ_{*1}をチケット販売機と同一の場所に設置する必要がなく、チケット販売機の販売、売り上げなどを管理する事ができます。
- 管理サーバ_{*1}から送られる時報データを受け取り、本機の内部時計を補正することができます。
- 販売金額を管理サーバ_{*1}から変更する事ができますので、販売金額のサービス期間などへの対応が容易にできます。
- 設定により、管理サーバ_{*1}からの定期的なステータスコマンドが途切れると、販売を禁止 することができます。
- 管理サーバ_{*1}から印字データ破棄の要求を受け取ると、チケット販売機に記憶されている 印字データを破棄し、販売を禁止にします。

※1 管理サーバはお客様側で開発していただく必要があります。

3 ブロック図および各部の名称とその機能

3-1 ブロック図



3-2 全体図



	名称	機能	
1	扉錠	前面扉を開閉するための錠前です。	
2	警報ブザー設定スイッチ	警報ブザーを ON/OFF するスイッチです。	
(\mathfrak{S})	販売中ランプ	チケットの販売が可能な状態の場合、点灯します。	
\geq	4 桁数値表示器	設定された販売金額、エラーなどを表示します。	
4		メンテナンスモードでは、各種設定値を表示します。	
5	紙幣挿入口	1000円紙幣を裏表4方向で挿入できます。	
6	チケット取り出し口	販売されたチケットが発行されます。	
\bigcirc	電源プラグ	本機の電源供給用です。 (AC100V用)	
8	警報ブザー発振孔	警報ブザーの発振音孔です。	
9	定格銘板	製品の型式、製造No、電気定格などを記載しています。	
(10)	アース端子	アース線の接続部です。	

3-3 内部機構図



	名 称	機 能
1	コントロールボックス	本機のコントロールを行います。
2	バッテリーチェックスイッチ	警報ブザー用電池をチェックします。
3	選択スイッチ	各種設定時に使用します。
		紙幣を取り込み、収納します。
4	和口行可以力生物	紙幣識別機力バーで覆ってあります。
6	電池ボックフ	警報ブザーを鳴らす為の電池を取り付けます。
9	电池ボックス	図では警報ブザー用電池を取り付けてあります。
6	電源スイッチ	本機の電源を入/切します。
\bigcirc	プリンター	プリンター用紙に明細書などを印字します。
8	内部錠前	紙幣識別機カバーを固定するための錠前です。
9	内部シャーシ固定ネジ	内部シャーシを固定します。

4 付属品と設置の方法

4-1 付属品

製品を開梱し、次の付属品が同封されていることを確認してください。

本体付属品

•	扉錠用鍵	$\times 2$
•	警報ブザー解除鍵	$\times 2$
•	プリンター用紙*1	$\times 1$
•	紙幣識別機カバーの錠前鍵	$\times 2$
•	警報ブザー用電池	$\times 1$
•	本体固定用ネジ(M6×30+-六角フランジタッピング)	$\times 4$

※1 プリンター用紙はプリンターの内部に入っています。

取り付け台付属品

•	本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット)	$\times 4$
•	台座取り付け用ネジ(M6×10 皿)	$\times 4$
•	アンカーボルト(M10×60 C-1060)	$\times 4$

- ※ LAN ケーブルは付属していません。お客様にて準備をお願いします。 本体内のみで約 50cm の長さが必要となります。
- 4-2 架台の設置方法

※本体のみ設置する場合は、「4-3本体の設置方法③」以降を参照してください。

2 種類の取り付け方法があります。



② 台座を底面にし、付属のアンカーボルト(M10×60 C-1060)で架台を固定します。



③ 電源プラグを通すノックアウト(3ヶ所)を抜き、架台カバーの引っ掛けを下部から合わ せながら差し込み、固定します。

ノックアウトの抜き場所は、設置場所に応じて変更してください。



- 4-3 本体の設置方法
 - ① 本体の電源プラグを架台上部から内部へ通し、ノックアウト開口部へ通しておきます。 LAN ケーブルも同時に通しておきます。



② 架台に本体を載せます。



③ 前面扉を開き、内部シャーシ固定ネジを外します。



④ 内部シャーシを引き出し、本体上部へ置きます。
 ※ ハーネスが抜ける恐れがありますので、強く引っ張らないでください。
 ※ 本体上部に置く際は本体上部に傷が付く恐れがありますので、緩衝材を敷いてください。
 。また、落下しないよう十分お気をつけください。



⑤ 本体の底の穴に、付属の本体固定用ネジ(M8×15 P3 アプセット)で4ヶ所固定します。 また、本体のみ設置する場合は、本体固定用ネジ(M6×30+-六角フランジタッピング) を使用してください。



⑥ コントロールボックス左後方の電池ボックスに警報ブザー用電池を取り付けます。



⑦ 本体の背面下部についているブッシュを外します。



⑧ ブッシュをLAN ケーブルに通し、本体内部に通した後で、ブッシュを再度取り付けます。



 ③ コントロールボックスの内側にある、LAN コネクタ差し込み口に LAN ケーブルを「カ チッ」と音が鳴るまで差し込みます。



- 0 $\left(\circ \right)$ P -コントロールボックス 0 ο LAN ケーブル・ 0 ナイロンクランプ 固定用ネジ ナイロンクランプ、 0 0 O 0 0 O
- 10 LAN ケーブルをコントロールボックスから本体内部を沿わせて、ナイロンクランプで LAN ケーブルを固定します。

11 内部シャーシを戻し、内部シャーシ固定ネジを止めます。



12 本体の背面下部にあるアース端子にアース線を接続し、前面扉を閉めて完了です。



- ※ アース線は必ず接続してください。
- ※ 電気工事およびアース(接地)工事は、必ず電気工事士により工事を行ってください。
- ※ アース(接地)工事はD種(第3種)設置工事(接地抵抗値100Ω以下)を行ってください。
- ※ アース線はガス管や水道管、電話機用のアース線には絶対に設置しないでください。
- 4-4 盗難および転倒防止

本体背面に壁面固定穴: φ7mm 4ヶ所を準備しています。

より安全に運営していただくために、背面の固定を行なってください。

5 設置後の操作

5-1 初期設定

本機を設置直後に電源を投入すると、出荷状態の[CL]点滅表示になっています。 下記の操作を必ず行ってください。



メンテナンスモード設定
 「5-3 メンテナンスモード」を参照して、下記の5項目を設定してください。

- 機械No.
- ・IP アドレス
- ・サブネットマスク
- ・デフォルトゲートウェイ
- ・ローカルポート

※ 上記以外の項目は、必要に応じて変更、確認を行ってください。

② 期間データ更新
 一旦電源を一旦切り 電源を ON すると



表示なります。



が表示されるまで、モードスイッチを押します。

セットスイッチを2秒押すとデータ更新します。



これで、初期設定は完了です。

5-2 販売モード

5-2-1 販売モードー覧

表示	モード名	機能	
<u>[]</u> [][][][][][][][][][][][][][][][][][]	トータルカウンタ 枚数表示	トータルのチケット販売枚数を表示します。 (リセットなし 4桁表示)	
川23 期間カウンタ 枚数表示		期間内のチケット販売枚数を表示します。 (リセットあり 3桁表示)	
ア バの チケット売上明細書 発行 発行		販売枚数や販売金額などの印字を行います。	
EPrn	テスト発行印字	カウンタを更新することなく、販売金額を挿入 し、実際のデータでテスト発行印字することがで きます。	
PLUL	プリンター用紙 カット	プリンター用紙をカットします。	
リアーム 期間データ更新 初期設定時および、期間 かいます。		初期設定時および、期間データを更新する際に行います。	
6-EL	バックアップ 金額消去	停電時の残金額表示をクリアします。 (バックアップ設定 OFF のときは、表示されません。)	

5-2-2 販売モード内の流れ

販売モードは、待機状態で MODE スイッチを押すことで切り替わります。



※ 販売モードでは、10 秒以上操作を行わなければ販売待機に戻ります。

- 待機表示
 通常の販売動作を行います。印字データがない場合は[----]表示、印字データがある
 場合は設定されている販売金額を表示します。
- ② トータルカウンタ枚数表示
 トータル販売枚数を確認します。
 4桁で表示し、リセットは行えません。
- ③ 期間カウンタ枚数表示
 期間データを更新してからの販売枚数を確認します。
 3桁で表示し、期間データ更新でリセットされます。

④ チケット売上明細書発行チケットの売上明細を印字します。



```
• 印字内容
```

•項目説明

チケット 売上明細書		
販売期間		
20xx 年 xx 月 xx E	∃ xx 時 xx 分	
	から	
20xx 年 xx 月 xx 日	∃ xx 時 xx 分	
	まで	
伝票No.	XXX	
機械No.	XXX	
	(XXXX)	
前回カウント値	XXX	
今回カウント値	XXX	
販売枚数	xxx 枚	
販売単価	x, xxx 円	
販売金額	xxx, xxx 円	
¥1000 枚数	xxx 枚	
お客様確認サイン		
オペレータ確認サ	イン	

販売期間	期間データを更新した日付から現在の日付
伝票No.	期間データを更新した回数
+{ {+++++++++++++++++++++++++++++++++++	設定されている機械No.
1茂1项110.	()内は 10 進数表記
前回カウント値	期間データを更新した時の販売回数※1
今回カウント値	稼働を開始してからの販売回数※1
販売枚数	期間データを更新してからの販売枚数
販売単価	設定されている販売金額
販売金額	販売枚数と販売単価で計算した合計販売金額
¥1000 枚数	期間データを更新してからの紙幣枚数

※1 初期化は行えません。





⑧ バックアップ金額消去

購入途中に停電が発生した場合、バックアップされた残金額を消去します。 販売金額が2000円でバックアップされた残金が1000円の場合、残金の1000円 を消去して、販売金額の2000円の表示に戻します。 バックアップ設定が「OFF」の場合、この項目は表示されません。



5-3 メンテナンスモード

5-3-1 メンテナンスモード一覧

表示	モード名	機能
ЫıLL	紙幣識別機テスト	紙幣の読み込みテストを行います。
PrES	プリンター印字テスト	プリンターの印字テストを行います。
[Prn	改行印字テスト	設定された改行数を 10 秒間隔で 3 回印字を行 います。
ΓLοΓ	時計設定	年月日、時間を設定します。
YEn 1	販売金額設定	販売金額を設定します。
d - n o	伝票No.設定	伝票No.を設定します。
U-no	機械No.設定	機械No.を設定します。
ıP	IP アドレス設定	IP アドレスを設定します。
<u> Ч Б</u>	サブネットマスク設定	サブネットマスクを設定します。
9 A	デフォルトゲートウェイ 設定	デフォルトゲートウェイを設定します。
LP	ローカルポート設定	ローカルポート番号を設定します。
5E-E	ステータス要求タイマー 設定	ステータス要求受信タイムアウトによる 販売禁止までの時間を設定します。
B IL E	紙幣カウンタ確認	紙幣挿入枚数のトータルカウンタ、 期間カウンタを表示します。
P R 9 E	印刷ページ枚数設定	
6-UP	バックアップ設定	購入途中での停電時、挿入金額のバックアップ の有無を設定します。

5-3-2 メンテナンスモードの流れ メンテナンスモードは、各種テストや各機能設定を行います。 MODE スイッチを押しながら電源スイッチを ON にするとメンテナンスモードになり ます。MODE スイッチはバージョン表示が消えるまで押し続けてください。



 紙幣識別機テスト 紙幣識別機の動作確認を行います。



② プリンター印字テスト
 固定の印字データを送り、プリンターの印字を行います。
 正常に印字できなかった場合は、エラーを表示します。



機械No、ポート番号の()内は 10 進数表記になります。

③ 改行印字テスト

プリンターの改行印字テストを行います。 設定した改行数が0の場合は、印字動作を行いません。 ※範囲:0~99行



④ 時計設定
 年月日と現在時刻の設定を行います。
 ※ 初期値:06年01月01日00分00秒



「年/月/日/時/分」の数字設定は、UP スイッチで変更します。

⑤ 販売金額設定
 販売金額の設定を行います。
 ※ 初期値:1000円 範囲:1000~5000円



⑥ 伝票No.設定

伝票No.の設定を行います。 初期値の0が設定されているのは出荷時のみです。 期間データを更新するごとにカウントアップします。 ※初期値:0 範囲:1~999



⑦ 機械No.設定

機械No.を 16 進数で設定を行います。 ※ 初期値:001 範囲:001~FFF(4095)





IP1~IP4 までの IP アドレス設定を行います。

※ 初期値:172.16.0.1 範囲:1.0.0.1~223.254.255.254 (例:IP1の設定)



9 サブネットマスク設定
 サブネットマスクの設定を行います。
 設定はサブネットに対応した、ホストビット番号で行います。
 ※ 初期値:16(255.255.0.0) 範囲:2(255.255.255.252)~24(255.0.0.0)



ホストビット対応表

	Host
Net mask	Bits
255.255.255.252	2
255.255.255.248	3
255.255.255.240	4
255.255.255.224	5
255.255.255.192	6
255.255.255.128	7
255.255.255.0	8
255.255.254.0	9
255.255.252.0	10
255.255.248.0	11
255.255.240.0	12
255.255.224.0	13

	Host
Net mask	Bits
255.255.192.0	14
255.255.128.0	15
255.255.0.0	16
255.254.0.0	17
255.252.0.0	18
255.248.0.0	19
255.240.0.0	20
255.224.0.0	21
255.192.0.0	22
255.128.0.0	23
255.0.0.0	24

 ① デフォルトゲートウェイ設定 デフォルトゲートウェイ GA1~GA4 の設定を行います。
 ※ 初期値:OFF(0.0.0.0) 範囲:1.0.0.1~223.254.255.254
 ※ OFF の設定にすると、デフォルトゲートウェイを使用しない設定になります。
 ※ OFF 以外の設定のときは、GA1 から表示します。
 (例:GA1 の設定)



① ローカルポート設定

ローカルポート番号の設定を行います。

※初期値:2711(10001) 範囲:2710(10000)~FFFF(65535)

※ 設定値は 16 進数で設定します。



② ステータス要求タイマー設定
 管理サーバからのステータス要求が途切れたと判断する時間を設定します。
 ステータス要求タイマーが経過すると販売禁止になります。
 ※ 初期値:0分 範囲:0~99分
 ※ 設定値が0の場合、ステータス要求タイマーの機能が働きません。



13 紙幣カウンタ確認
 紙幣識別機のトータルカウンタ、期間カウンタの確認を行います。



※ トータルカウンタ表示は4桁、期間カウンタ表示は3桁で表示します。
 トータルカウンタの範囲:0000~9999
 期間カウンタの範囲:0~999
 各カウンタは、上限範囲を超えると「0」になり、以降カウントを行います。

14 ページ枚数設定

チケット売上明細書の発行枚数の設定を行います。 ※初期値:1枚 範囲:1枚~2枚



(1) バックアップ設定
 購入途中に停電が発生し、電源が再復帰した場合の購入途中金額に復帰、または購入
 途中の金額を消去する設定を行います。
 ※初期値:OFF(購入途中の金額を消去)



5-4 販売するプリンター用紙の補充

警報ブザー設定鍵で警報ブザーを解除し、前面扉を開け、電源スイッチを「ON」の状態にしてください。

以下に説明する手順でプリンター用紙を補充してください。

① 印字プリンターのカバーオープンレバーを矢印の方向に操作しながら、前面カバーを開いてください。



② 用紙をプリンター内部へ落とし込んでください。 用紙の端を適当に引き出し、カバー上部の「合わせマーク」に用紙端を合わせながら 前面カバーを閉じてください。(用紙が真っ直ぐになっていることを確認してください。)



③ 用紙の余分な部分がカットされ、印字可能な状態となります。 (電源を ON の状態にしておいてください。)

【注意】

- ・新しい用紙を入れる前に古い用紙の巻き芯を取り除いてください。
- ・用紙は巻きゆるみのないようにセットしてください。(紙詰まりの原因になります。)
- ・用紙の印字面は外側で、印字面が上向きになるようにセットしてください。
- ・用紙を斜めにセットした場合は前面カバーを開き真っ直ぐに修正してください。
 (前面カバーオープン時、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。 指や手を挟まないように注意してください。)
- ・印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。

5-5 残紙、ジャム紙の除去方法

以下に説明する手順でプリンター用紙を除去してください。

① カバーオープンレバーを操作し、前面カバーを開いてください。



② 用紙経路上の用紙を取り除いてください。
 用紙がプラテンに巻きついている場合はギヤー部を手で回しながら取り除いてください。



③ 前面カバーを音がするまで確実に閉じてロックしてください。

【注意】

- ・印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。
- 前面カバーを開く時、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。
- ・指や手を挟み込まないように注意してください。
- ・引きちぎれないようにゆっくり取り除いてください。細片を残さないようにしてください。

6 チケット販売操作

(例) 設定金額 1000 円での購入した場合

 管理サーバから印字データを受信している状態なら、販売中ランプが点灯し、販売金額が 表示されています。この状態で1000円紙幣を挿入します。



② チケットが発行されます。
 販売を行うと、再度管理サーバから印字データを受信するまで、販売はできません。



③ 管理データから印字データを受信すると、販売金額を表示します。





7 紙幣識別機カバーの使用方法

7-1 紙幣識別機力バーの取り外し

① 付属品の紙幣識別機力バーの錠前鍵を使用し、内部錠前を外します。



② 紙幣識別機力バーを上部に持ち上げます。



③ 紙幣識別機力バーを手前に引いて外します。



- 7-2 紙幣識別機カバーの取り付け
- ① 紙幣識別機カバーを紙幣識別機の前面に取り付けます。



② 紙幣識別機力バーを下げ、固定します。



※ 紙幣識別機カバーの丸部分を確実 に差し込んでください。



③ 付属品の紙幣識別機力バーの錠前鍵を使用し、内部錠前を外します。



8 紙幣の回収方法

「7 紙幣識別機カバーの使用方法」を参照し、紙幣識別機カバーの取り外し、取り付けを 行ってください。

① 紙幣識別機の扉を、手前に倒して開きます。



② 収納された紙幣を回収します。その際にプレートを指で下げ、紙幣通路部に紙幣や異物 が詰まっている場合は取り除いてください。



③ 紙幣識別機の扉を、「パチン」と音がするまで確実に閉じます。



9 日常のお手入れ

9-1 紙幣識別機の清掃

紙幣識別機は、紙幣、ほこり、水ぬれ、異物の付着などで汚れてきます。汚れがひどくなる と、紙幣の受入率低下、札詰まりなどの異常が発生し、性能が維持できなくなります。 性能を長く維持するために、1~3ヶ月に1度定期的に清掃してください。

【注意】

- ・日常のお手入れが終わりましたら、必ず動作テストを行い、異常がないことを確認してくだ さい。確認をしないと異常を発見できず、誤動作や故障の原因となります。
- ・必ず電源が切断されていることを確認してください。
- ・識別シュート、リアシュート、フロントドアを開けた時、雨水や異物が入らないように注意 してください。
- 本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布や綿棒などで乾拭きしてください。
- ・識別センサーは発光部と受光部が対になっていますので、必ず両方清掃してください。
- ・乾拭きで汚れが取りにくい時は、柔らかい布や綿棒などに無水エタノールを含ませてください。
- ・搬送ベルトの清掃には、無水エタノールは絶対に使用せず、必ず柔らかい布や綿棒などで乾 拭きしてください。
- ・酸性、アルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー系の溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないで ください。変形や変色、故障の原因になります。

9-1-1 札通路部の清掃

シュートラッチを押し上げて、識別シュートを開きます。
 この時、紙幣や異物が詰まっている場合は、取り除いてください。





- ます。 識別シュート 0 識別センサー 磁気センサー ſ
- ② 識別シュートを手で開きながら、紙幣通路部、識別センサー、磁気センサーを清掃し

③ ベルトを回転させて、柔らかい布でベルトを乾拭きします。



④ 識別シュートを「パチン」と音がするまで閉じます。



9-1-2 リアシュートの清掃

 ラッチを押し下げリアシュートを開きます。この時紙幣や異物が詰まっている場合は、 取り除いてください。



② リアシュートの紙幣通路部を清掃します。



③ リアシュートを「パチン」と音がするまで閉じます。



9-2 印字用プリンターの清掃

サーマルヘッドの発熱体部分に紙カスなどが付着して印字品質が悪くなることがあります。 また、プラテン、センサーに紙粉が付着することがあります。 このような場合は電源をOFF し、以下の清掃をおこなってください。

① サーマルヘッド

アルコール系溶剤(エタノール・IPA)を含ませた綿棒で発熱体表面の汚れを拭き取ってください。

② プラテン

乾いた布でプラテンを軽くこするようにして拭き、表面のゴミ・ホコリなどを除去してください。

- ③ マークセンサー/用紙センサー及びその周辺 毛先の柔らかいブラシや綿棒でセンサーに付着したゴミ・ホコリなどを除去してください。
- ④ オートカッター

エアブローで付着したゴミ・ホコリなどを除去してください。(目安:10万回動作毎)



【注意】

- ・印字直後のサーマルヘッドは高温になるため、指や手などで触れないようにしてください。
- ・サーマルヘッドの発熱体表面に素手や金属などで触れないでください。
- サーマルヘッドの清掃の際、静電気によるヘッド破損の危険性があるので十分注意してください。
- ・用紙によっては、異常に紙粉が出ることがあるのでメンテナンス時期は、用紙の確認をした 上で決めてください。
- ・完全に乾いた後で電源を ON してください。
- ・前面カバーを開く時、停止位置を越えて無理な力をかけないでください。

10 エラー表示およびエラー解除方法

エラーコード	エラー名	エラー要因
E - / []	紙幣満タン	紙幣を回収してください。
	紙幣詰まり 紙幣識別機上蓋開き	紙幣詰まりがないか、紙幣識別機の各蓋が完 全に閉まっているか確認してください。
	引き抜き異常	紙幣収金動作中に紙幣の逆流を検知した場合 にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	モーターパルス異常	電源投入時、モーターに異常があった場合に エラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
	キャリア SW 異常	紙幣を金庫に収納する際に異常が発生した場 合にエラーとなります。 電源の再投入で復帰します。
E-21	ニアエンドまたは ロール紙切れ	プリンター用紙を補充してください。 ※「5-4 販売するプリンター用紙の補充」 参照
E - 22	プリンターカッター不良	販売店まで連絡をお願いします。
E - 2 3	プリンターコネクタ抜け	プリンターのコネクタが抜けていないか確認 してください。
E - 2 4	ロール紙ストッカー開き	プリンターのロール紙ストッカーを確実に閉 めてください。
E - 2 5	プリンターヘッド温度異常	販売店まで連絡をお願いします。
E - 3 0	前面パネル開き	前面パネルを確実に閉めてから警報ブザーの 設定を行ってください。 ※「11 警報ブザーの動作」参照
[n-1	紙幣識別機コネクタ抜け	紙幣識別機のコネクタが抜けていないか確認 してください。
E - 6 0	通信異常	管理サーバとの通信が確立されれば自動的に 解除します。または電源を再投入してください。



紙幣詰まり、センサー異常などが発生した場合[E-11]が表示されますが、 この場合はエラー要因を取り除くと自動復帰します。

モーターパルス異常(電源投入時)、キャリアSW異常(スタック動作時)、 引き抜き異常が発生した場合も[E-11]が表示されますが、この場合は、 エラー要因を取り除いても自動復帰しません。電源の再投入をお願いします。

上記方法を行っても復旧しない場合は、販売店まで連絡お願い致します。

11 警報ブザーの動作

① 警報ブザー設定スイッチが ON の状態で動作します。警報ブザーを止める場合、または前面 扉を開ける際は警報ブザー設定スイッチを OFF にしてください。



- ② 警報ブザーが鳴る要因としては以下の3つがあります。
 - ・電源コンセントの引き抜き
 - 停電
 - ・前面扉が不正に開いた時
- ③ 警報ブザーの解除

警報ブザー設定スイッチを OFF にした場合、警報ブザーは停止します。 停止中に警報ブザーが鳴る要因を解除してください。

警報ブザーが鳴る要因	解除方法	
電源コンセントの引き抜き	電源コンセントの再投入	
停電	停電復旧	
前面扉が不正に開いた時	警報ブザー設定スイッチを解除し前面扉を正規に閉め 警報ブザー設定スイッチを ON にする。	

- ④ 警報ブザー用電池の交換について
 電池交換の目安としてバッテリーチェックスイッチを装備しております。スイッチを押して
 赤色 LED の発光が暗く感じたら電池を交換してください。
- (注)警報ブザー用電池は、1年ごとに交換してください。
 - 電 池 の 品 名:マンガン乾電池(積層形)
 - 電 池 の 型 式: OO6P形
 - 電池の電圧:9V形



電池の交換の際は安全のため電源スイッチを OFF にして、コンセントを抜いてから 交換してください。

12 製品仕様

項目	内容		
制御方式	1 チップマイクロコンピュータによる動作制御		
販売口座数	1 □座		
対応紙幣	 1000 円紙幣のみ		
上限金額	1000 円~5000 円(1000 円単位設定)		
2 A + + > - P	トータルカウンタ	期間カウンタ	
人金カリンタ	(リセットなし)	(リセットあり)	
表示	前面扉に緑色7セグメント4桁表示		
販売中ランプ	前面扉に青色点LED表示		
	480-120枚(官封紙幣)		
紙幣収納权数	ただし、流通紙幣の場合、収納枚数が減少する事があります。		
	紙幣収納部に対する内部施錠		
紙幣挿入方向			
ノリンター用紙	幅 58mm 径 830最大		
印字枚数	10cm 印字にて約 600 枚 >>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>>		
印字ヘッダー寿命	約 100Km ※注3		
印字紙切断状態	パーシャルカット		
カッター寿命	約 100 万回*注3		
盗難警報ブザー	コンセント引き抜き時および前面扉こじ開け		
時計精度	月差 60 秒以内(常温時)		
信雨归江	大容量コンデンサーによる動作記憶		
停電保証	停電後1週間(フル充電状態にて)		
塗装色	焼付塗装 日塗工 A75-80B.	、マンセル 5PB8/1	
	屋内専用 温度:5~45℃ 湿度:30~90% 結霜、結氷		
() () () () () () () () () () () () () (なき事		
設置方法	架台による自立式		
加公式注	200mm(W)×750mm(H)×220mm(D)		
	底板 280mm(W)×300mm(D)		
本体外形寸法	200mm(W)×350mm(H)×220mm(D)		
重量	本体:約12kg スタンド:糸	ງ 9kg	
電源	AC100V 50/60Hz		
電源変動許容範囲	AC100V±10V		
消費電力	待機時:9W 動作時:31W(通常印字動作時) ※注4		
絶縁抵抗	DC500V、50MΩ以上		
耐電圧	AC1000V/1分間(充電部一非充電部)		
静電気耐力	8KV以上(IEC 61000-4-2 準拠)		
	モード :ノーマルモード、コモンモード		
耐ノイズ	パルス幅:1μSec パルス高:±1200V		
	位相 :0~360° 3 5	う間重畳し誤動作なき事	

※注1 感熱ロール紙は、弊社推奨品をご利用下さい。弊社にて受注を承ります。 弊社推奨品は、下記の文言が感熱ロール紙裏面に印字されております。 宿泊客様に対し、利用上の注意点をプリント印字することなく、お伝えする事が出来 ます。



左記の文言が繰り返し印刷されています。

※注 2 印字枚数は、チケットの印字長、紙長などによって変わります。長さに付いて事前 にご相談下さい。



- ※注 3 寿命数値は、参考値で製品の保証を意味するものではありません。保証につきましては、保証規定をご参照ください。
- ※注4 本体定格銘板の表記は、法律上、定格消費電力18W、電熱装置定格消費電力66W となっています。

13 保証規定

当社製品をご注文いただく際、見積書、契約書、仕様書などに特記事項のない場合には、 次の保証内容、免責事項、適合用途の条件等を適用いたします。下記内容をご確認いただき、 ご承認のうえご注文をお願い致します。

1)保証内容

-保証期間

当社製品の保証期間は、ご購入後またはご指定の場所に納入後1年といたします。

- 保証範囲

上記保証期間中に当社側の責により当社商品に故障を生じた場合は、代替品の提供 または故障品の修理対応を、当社社内において無償で実施いたします。 ただし、故障の原因が次に該当する場合は、この保証の対象範囲から除外いたします。

- a) 取扱説明書または仕様書などに記載されている以外の条件・環境・取り扱いならびに ご使用による場合
- b) 当社製品以外の原因の場合
- c) 当社以外による改造または修理による場合
- d) 当社製品本来の使い方以外の使用による場合
- e)その他、天災、災害など当社側の責ではない原因による場合 なお、ここでの保証は、当社製品単体の保証を意味するもので、 当社製品の故障により誘発される損害は保証の対象から除かれるものとします。

2) 責任の制限

当社製品に起因して生じた特別損害、間接損害、または消極損害に関しては、当社はいかなる場合も責任を負いません。

プログラミング可能な当社製品については当社以外の者が行ったプログラム、または それにより生じた結果について当社は責任を負いません。

3)サービスの範囲

当社商品の価格には、技術者派遣などのサービス費用は含まれておりません。 お客様のご要望がございましたら、当社営業担当者までご相談ください。

4) 適用範囲

以上の内容は、日本国内での取引および使用を前提としております。日本国外での取引 および使用に関しては、当社営業担当者までご相談ください。

以上